

# 提 言 書



四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となって、全国の高規格道路ネットワークを形成し、物流をはじめとする様々な経済活動や人々の交流を促進する基盤として、四国の活性化に大きな効果をもたらすものであり、その早期整備は、四国の切なる願いです。

現在、四国東南部及び西南部にはミッシングリンクが存在しています。甚大な被害が想定されている南海トラフ地震発生の際の切迫度が高まる中、「四国8の字ネットワーク」は、大規模災害時には救援・救助活動を支え緊急輸送道路になるとともに、災害に強い国土を形成し、国民の安全・安心な暮らしを確保する「命の道」となるものであり、その整備を加速しなければなりません。

しかし、四国には計画段階評価に未着手の区間や完了していない区間が集中している状況です。市町村が防災計画やまちづくり計画を策定するにあたっては、高規格幹線道路等のルートやインターチェンジの位置が重要な要素となることから、計画段階評価を早期に完了する必要があります。

また、四国では2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、四国への観光客誘致を図る官民一体となった取組を進めています。四国の強みである美しい自然風景や四国遍路に代表される独自の歴史文化による観光と、確かな力や個性のある産業などを最大限に活かした地方創生を実現するためにも、「四国8の字ネットワーク」の早期整備は必要不可欠です。

以上により、四国の総意として、次の事項について強く提言いたします。

- 一. 国の骨格を形成し、地域の自立と交流拡大を図るとともに、日々の暮らしを支え、大規模災害時には「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」は、国の責任において、ミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化を、一日も早く実現すること。
- 一. 計画段階評価の未着手区間の早期着手を図ること。また、計画段階評価完了区間及び実施中区間の早期事業化を図ること。
- 一. 将来にわたり、「四国8の字ネットワーク」の安全性・信頼性を確保するため、計画的な維持管理・老朽化対策を実施すること。
- 一. 地域の活性化や連携強化のほか、緊急輸送道路としての機能が最大限発揮できるよう、スマートインターチェンジの増設を図るとともに、サービスエリア、パーキングエリアの防災拠点化を図ること。
- 一. 「四国8の字ネットワーク」の早期整備と計画的な維持管理を行うために必要な予算を確実に確保すること。

平成27年7月8日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

四国経済連合会会長	千葉昭
徳島県知事	飯泉嘉門
香川県知事	浜田恵造
愛媛県知事	中村時広
高知県知事	尾崎正直